

OZONE

**FORZA 2**

取扱説明書 - JP



## 目次

はじめに	01
警告	02
フォルザ2に関して	03
準備—プロテクション	04
準備—アクセルシステム	06
準備—レスキューパラシュートの組込	08
装着	13
調節	15
装備	18
バックキング	20
使用法・保守	21
ボッドの交換	24
仕様	26
オノンの品質と保証	27

# はじめに

オゾンを選んでいただきありがとうございます。

フリーフライト愛好家、競技者ならびに冒険者のチームであるオゾンの使命は、最新のデザインと入手可能な最高技術から生み出される素材を使用して最高品質のパラグライダー用装備を創り出すことです。我々の開発チームは南フランスにベースを置いています。近くにはグルドン、モナコ、ブレンヌ峠などのフライトエリアがあり年間300日以上もフライトを可能にしてくれています。これはオゾンのグライダー開発にとって貴重な資産ともいえるものです。装備品の選択にあたっては品質および金額に対する価値が最も考慮されるものである事を知っています。それ故、低価格、高品質を実現するために全てのグライダー製品を自社工場生産するようにしています。製造過程において全てのオゾン製品は多くの厳しい品質検査を受けています。そのおかげで、全てのオゾン製品は我々が期待する高いスタンダードに沿ったものとなっていることを保証できるのです。

オゾン、フォルザ2あるいはオゾン製品に関してのさらなる情報をお望みの場合は、オゾンのホームページをチェックしていただくか、ファルホークインターナショナル(有)、最寄りのディーラー、スクールあるいはここオゾン本社の我々にご連絡ください。

このハーネスを初めて使用する前に、この取扱い説明書を良く読み内容を理解することは必須です。

安全なフライトを！  
チームオゾン

# 警告

- 全ての航空スポーツは肉体的損傷、麻痺を含む重大な怪我ならびに死亡する危険性の内在するものです。オゾン製品でフライトするには内在する危険性を完全に理解した上で行ってください。
- このオゾン製品の所有者であるあなたは、これを使用するにあたっては、あらゆる危険に対する全ての責任があなたに有る事を自覚して下さい。不適切な使用、改造は危険を増加させます。絶対にしないで下さい。
- 製造者、輸入代理店ならびに販売店に対する、この製品の使用に起因する如何なる損害賠償請求も除外されています。
- 可能な限り練習に励んでくださいー特にパラグライディングにおいて重要な要素であるグランドハンドリングを。地上での貧弱なグライダーコントロールが事故の原因の最たるものです。
- 常にこのスポーツの進化に遅れないよう上級コースに参加するなどして日々学習する習慣を身につけるようにして下さい。フライトテクニックならびに機材は進化し続けています。
- フライトにあたっては登録認証を受け、なおかつ改造されていないグライダー、プロテクション付きハーネス、緊急パラシュートを、その適正体重範囲内で使用して下さい。認証を受けた範囲を超えての使用は保険(賠償責任、生命など)の対象外になる危険性があります。保険会社に確認することはパイロットであるあなた自身の責任です。
- あなたの装備を徹底して日々およびプレフライト点検を実施してください。不適切あるいは損傷している機材では決して飛行しないで下さい。
- 常に、ヘルメット、手袋、ブーツを装着してフライトして下さい。
- フライトに際しては、適切な技能証と有効なフライヤー登録証を持っている事が必要です。
- 肉体的にも精神的にも健康な状態でのみフライトをして下さい。
- あなたの技能・経験に合ったグライダー、ハーネスならびにコンディションを選んでフライトしてください。
- テイクオフする前にフライト場所の地形、気象条件を必ず確認して下さい。疑問の有るときはフライトを断念して下さい。また全ての決定に対しては十分な余裕を持って下さい。
- 雨、雪が降っているとき、風の強いとき、気流の乱れているときあるいは雲中をフライトしないで下さい。
- あなたが適切で安全な判断を下すなら、未永くフライトを楽しむことが出来るでしょう。
- 環境に配慮し、エリアを大事にしてください。
- グライダーならびに関連装備品を廃棄する際には、環境に配慮した方法で行ってください。
- 一般の家庭ごみと同じ方法で廃棄しないでください。

**楽しむことがこのスポーツの目的であることを忘れない様に！**

## フォルザ2に関して

フォルザ2は、実際のXCコンディションで快適かつ簡単に飛行できる、複雑で機能が豊富なハーネスです。私たちはこのプロジェクトに3年以上の開発を費やし、多くのプロトタイプで何百時間もの試験飛行を行いました。フォルザ2に対する私たちの使命は、本格的なXCミッション向けの空力的で耐久性があり、非常に快適なツールを作成することでした。

フォルザ2の剛性は慎重に設計されています。バックレストはパイロットの背中あらゆる部分をサポートするように解剖学的に設計されています。さまざまな厚さと密度のフォームが配置され、腰部の優れた快適性を実現します。シートは、理想的なレベルの剛性と優れた体重移動コントロールを提供する小さな座板を備えており、長時間快適に休むことができるサポートゾーンにもなっています。巨大なプロテクターが背中全体をカバーし、シートプロテクターは目立たないながらも非常に効果的です。ハーネスの開閉部には色分けされたバックルが採用され、ポッド開閉システムはレッグベルトの締結忘れを防ぎます。

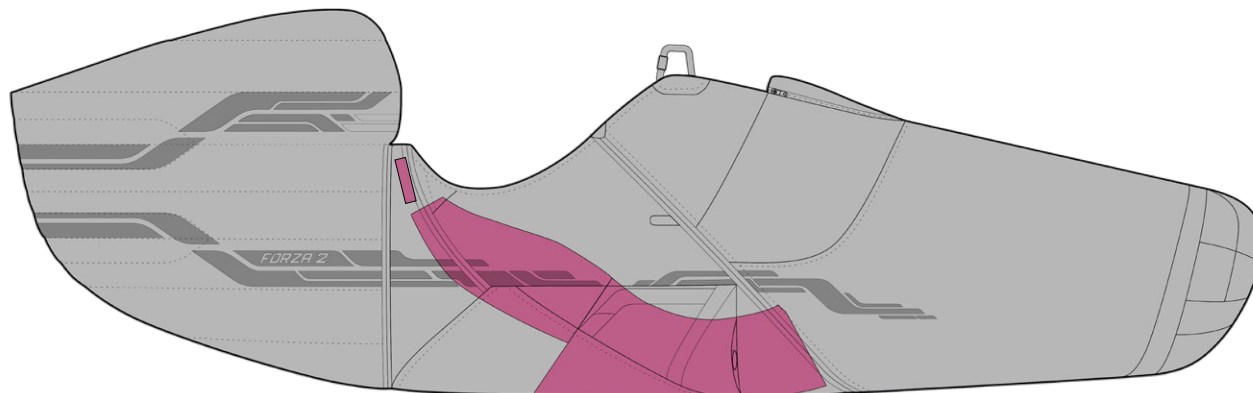
アクセスが容易な2つの巨大なサイドポケット、ポッド上のジッパー付きポケット、大きくて便利なコックピット、バッテリーポケット、シート下の収納スペース、ハイドレーションポーチとハイドレーションチューブ用のアクセス/マウントを備えた大きな後部収納エリア、シート下部にバラスト排気口/カテーテル吐き出し口。

大きなリアフェアリングにより、ハーネスの滑空性能と安定性が向上します。ポッドとリアフェアリングの形状、迎え角、機能を改良するために、多くの加速飛行テストが実施されました。ポッドとポッド開閉システムは、アクセルの頻繁な使用中にも過度のバタつきを起こすことなく、安全かつ機能的です。

マグネット開閉システムを備えた2つのレスキューコンテナーは、滑らかで空力的な外面を維持しながら大きな開口部を提供します。レスキューツールはアクセスしやすく握り易いにも関わらず、ハーネスの外面とよく一体化しています。

現在、すべてのオゾン製品はエコ監査を受けており、製品の持続可能性の最適化に努めています。フォルザ2は非常に耐久性に富み、かつ修理が容易です。素材は重要な部分での耐摩耗性が高くなるように慎重に選択され、デザインには可能な限りブルーサイン生地を使用しました。

## 準備 - プロテクション



フォルザ2には、シート下部に17cm LTF/CE認証取得のフォーム・プロテクターとフルレングスの背もたれコンフォート・フォームが標準装備されています。シート下部のプロテクターは、縫い目から空気を段階的かつスムーズに放出させることで大きな衝撃を吸収するように設計されています。

真空パックから展開した後、フォームプロテクターが完全に膨らむまで待ってください。最大12時間ほどかかるので、取り付けの前に一晩放置するのが最適です。

**警告:** フォームプロテクターの最長寿命は製造日から10年です。大きな衝撃が加わると、プロテクターは可能な限り最大限のエネルギーを吸収するために変形し、場合によっては破壊に至ることもあります。例外的なケースでは、製品を1回使用しただけで廃棄しなければならない場合があります。

プロテクターは次の場合に廃棄する必要があります。 - 使用年数が10年を超えている。 - その信頼性について疑問がある。 - 外皮が目で見ても損傷しており、内部の発泡体が見えている。廃棄するプロテクターはさらなる使用を防止するために完全に破壊すること。

シート下部プロテクションを取り付けるには、シート下部にあるバラストポケットの後にある下部のファスナー付きポケットを開けます。プロテクターの厚い部分がハーネスの後部に向くように、プロテクターをポケットに挿入します。プロテクターがポケットに収まったらファスナーを閉めます。

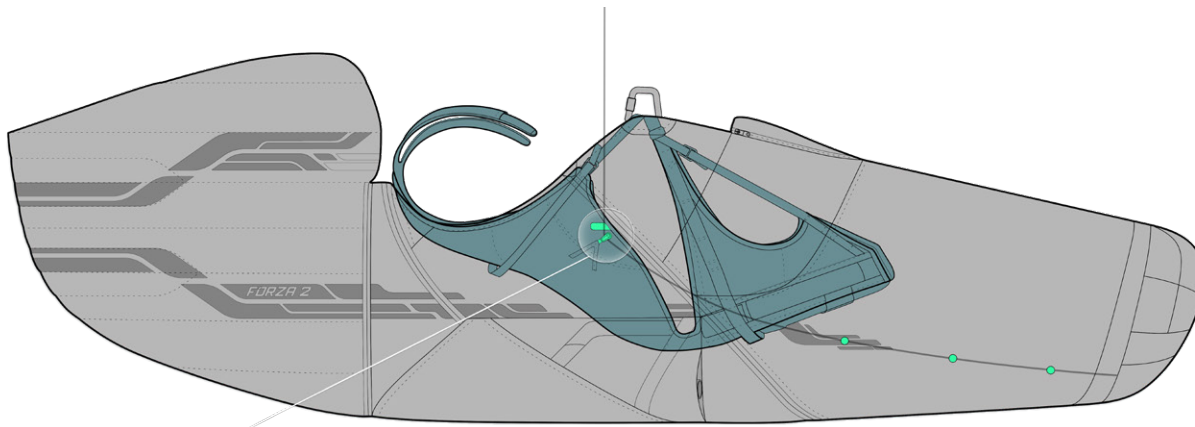


背もたれコンフォート・フォームは予め取り付けられています。取り外す必要がある場合は、メインの背部ポケットの上部の小さなポケットにあるベルクロフラップの後ろに開口部があります。

追加のオプションの背面上部コンフォートフォームを背面上部のファスナー付きポケット内に挿入することができます。これにより、特定の体型では肩の上部が快適になりますが、絶対に必要というわけではありません。

**警告:**いかなるプロテクターも完全な保護を保証できるものではありません。プロテクターは、ハードランディングのエネルギーを吸収する最も効果的な方法である脚の代わりになるものではありません。常にPLF(パラシュートによるランディング姿勢)をとる準備をし、プロテクションのみに依存しないでください。

## 準備 - アクセルシステム



フォルザ2には、あらかじめ取り付けられたアクセルバーと、ラチェットタイプのプーリーに適した追加の取り付けポイントが付属しています。アクセルバーを交換する必要がある場合、またはプーリーを交換する必要がある場合は、次の手順に従ってください。



ポッドの内側から、アクセルロープの自由端をアクセルロープ保持リングに通します。リングはシートとバラストポケットの間にあります。リングを保持しているゴムがねじれていないことを確認します。



ハーネス構造部の側面にあるプーリーにラインを通します

上部プーリーの下に追加の取り付けループがあり、ラチェットタイプのプーリー（オプシオン）を追加できます。



ロープがハーネス構造部のどの部分にも絡まらないように、ハーネスのサイドパネルのスリットにロープを通します。



次にアクセルロープの長さを調節します。この作業はシミュレーターにぶら下がって行うのがベストですが地面に座って行うことも可能です。アクセルシステムが短すぎるようにセットされておらず、かつ左右対称であることを確認してください。空中に出て、そうすることが安全であるならばアクセルバーに足を簡単にかける事が出来、システムがスムーズにフルスピードまで作動することを確認します。必要ならばロープの長さを調節します。

**警告:**アクセルロープの長さは左右同じでなければなりません。また短かすぎると空中でテンションがかかった際に予期せずアクセルが作動してしまうリスクが生じるので短かすぎないかを確認してください。常に飛行する前に地上でロープの長さとお対称性をダブルチェックしてください。

## 準備 - レスキューパラシュートの組込

フォルザ2は、容積が3~6リットルのレスキューパラシュートを収納できる2つのレスキューコンテナを装備しています。どちらのコンテナも、エンジェルSQ140や操縦可能なログロタイプを含むほとんどの最新のレスキューパラシュートを収納することが可能です。ハーネスにはブライダルと肩取り付け用のラピッドリンクが付属しています。

ブライダルを専用の肩取り付けポイントに接続します。ラピッドリンクの締結にはブライヤーを使用しますが、締めすぎないように注意して、しっかりと締められていることを確認します

**警告:** レスキューパラシュートは資格のある専門家により組み込まれることを強く推奨します。何かしら疑問のある場合は、常に経験者のアドバイスを求めるように。あなたの安全にかかわることです。



ヒバリ結びを使用して、レスキュートグルをインナーバッグに取り付けます。インナーバッグの側面に取り付けポイントがある場合はそこにトグルを取り付けることをお勧めします。側面がない場合は中央の取り付けポイントに取り付けることもできます。

**注意:** トグルとコンテナの間のテープがパラシュートのラインに絡まないことを確認する必要があります。



ハーネスに接続されているブライダルをパラシュート側のブライダルに適切なコネクター（オプション）を使用して接続します。

**注意:** パラシュート側のブライダルが短いタイプならば、ハーネスに接続されているブライダルに接続します。もし、パラシュート側のブライダルが長いY型タイプであるならば、Y型ブライダルをハーネスの肩部にあるブライダル接続ポイントに直接接続する必要があります。Y型ブライダルをハーネスに接続されているブライダルに接続してはなりません。



レスキュートルが外側に出るようにレスキューパラシュートをそのために設けられたレスキューコンテナの中に挿入します。磁石で固定されている大きなフラップからアクセスできます。

**注意:**ハーネスには、空のパラシュートコンテナの隙間を埋めるフォームブロックが含まれています。もしパラシュートを一つだけ組み込むなら、空のコンテナにこのブロックを挿入してトルでコンテナを閉じる必要があります。もしパラシュートを二つ組み込むなら、このブロックはレスキューを組み込む前に完全に取り除いて下さい。



ブライダルは、ハーネスの側面に沿ってレスキューコンテナまでファスナー付きスリーブ内にきちんと収められる必要があります。





次に、2つの黄色のケーブルをそれぞれのループに通す必要があります。ハーネスの後部に向かって差し込まれる上部の短い方のケーブルから始めます。各ケーブルは、赤いループを最初として、正しい順序でループを差し込む必要があります。赤いループにケーブルを差し込んだら、大きなフラップの黒いループにケーブルを差し込み、次にハーネスの黒いループに通します。その後、ケーブルをそのために設けられた穴に差し込み固定します。

2つ目の長いケーブルでも同様にします。まず黄色のケーブルをメインフラップの赤いループに通し、次に白いループを小さなフラップの穴に通してから、黄色のケーブルを差し込んで固定します。黄色のケーブルの先端をそのために設けられた穴に差し込み固定します。

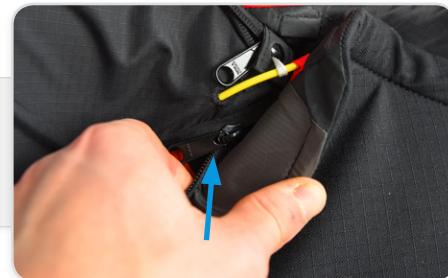




トグルが正しい位置にあることを確認してください。トグルの前部はフロント磁気フラップの裏側に差し込まれ、トグルの下部はコンテナを閉めるメインフラップの磁石の間に差し込まれます。トグルの下部がハーネスの磁石の間に来ていることを確認してください。



レスキューコンテナが閉じられ、ハンドルが正しい位置にある状態で、レスキューコンテナの後部にあるファスナーを閉じます。それには、黄色のケーブルを邪魔しないように注意しながら磁気フラップを持ち上げ、スライダをファスナーの上端まで引き上げ、次にスライダを下端まで引き下げてファスナーを閉め、スライダをそのために設けられたポケットに差し込みます。





ブライダルスリーブのファスナーを完全に閉めてスライダーを左肩口にあるそのためのポケットに差し込み固定します。

レスキューパラシュートが正しく組み込まれました。



**警告:** レスキューパラシュートの組み込みが終了したらシミュレーターにぶら下がり、レスキューの引き出しチェックを確実に実施して下さい。レスキューシステム全体が正しく機能するかの確認ができるだけでなく、組み込み過程をより理解する手助けとなります。特に、レスキューとインナーバッグを接続しているテープの長さが短か過ぎてコンテナを閉じているケーブルが抜けないとレスキューを引き出せなくなるので、必ず引き出しチェックを実施して下さい。

# 装着

初めてフライトする前に、シミュレーターにぶら下がり、フィット感を確認しハーネスの特徴や調整に慣れるように推奨します。最もしっかりとるように肩ベルトを調整し、快適なリクライニング姿勢が取れるようにリクライニング角度を調整してください。ぶら下がる際は、必ずメインのハングポイントに取り付けられたカラビナのみを使用して行ってください。

ハーネスを装着するにはまず肩ベルトに両腕を通します。



次にカラーで色分けされたレッグ/チェストベルトを締結します。カチッと音がして適切に固定されていることを確認してください。



次に肩ベルト保持テープを締結します。

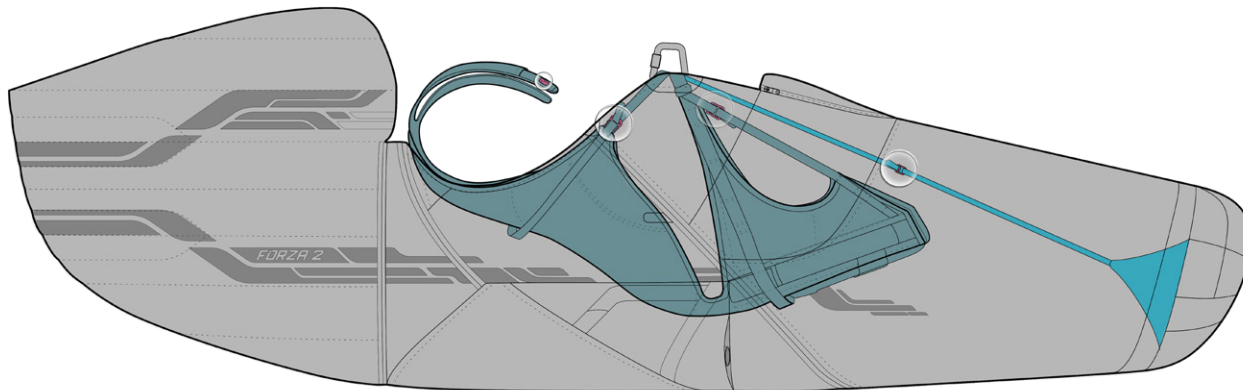
次にポッドを閉めます。コックピットを左側に持ってきて、赤いループ（左側のバックルの下にあります）をポッドのハトメに通し、チェストベルトに取り付けられた赤いTロックで固定します。



次に、青いTロック（コックピットの下、右側ポッドの前面にあります）を左側ポッドの開口部に通します。



# 調節



## 肩ベルト

肩ベルトの長さは調節テープを使って調節することができます。ハーネスを装着して立った姿勢で、快適にじっくりるように調節します。シミュレーターにぶら下がって着座姿勢で肩ベルトが快適で体をしっかりとホールドしているかを確認してください。きつ過ぎても緩過ぎても良くありません。



### リクライニング角度

リクライニング角度は快適なフライト姿勢が取れるように調整します。背中全体が完全にサポートされ腹筋を使わなくても快適な姿勢が取れるように正確に調整します。この調整はフライトでの快適性に大きく影響するので慎重な調整が必要です。過度に緩くすると、フライト中寝そべり過ぎた姿勢になります。



### チェストベルト

チェストベルトの設定は非常に繊細で、わずかな調整だけでも飛行中の感触に大きな影響を与えます。調整は空中でも行えますが地上で行う方が安全です。ロールレスポンスとグライダーフィードバックを軽減するには、チェストベルトを締めてください。ロールレスポンスとフィードバックをさらに高めるには、チェストベルトを緩めてください。チェストベルトの長さ(カラビナ間距離)はグライダーに付属する取扱説明書を参照してください。推奨されるチェストベルトの長さ範囲を逸脱して飛行しないように忠告します。





### シートの角度

調節用のバックルがメインハングポイントの直下にあるテープによりシートの角度を調節することが可能です。

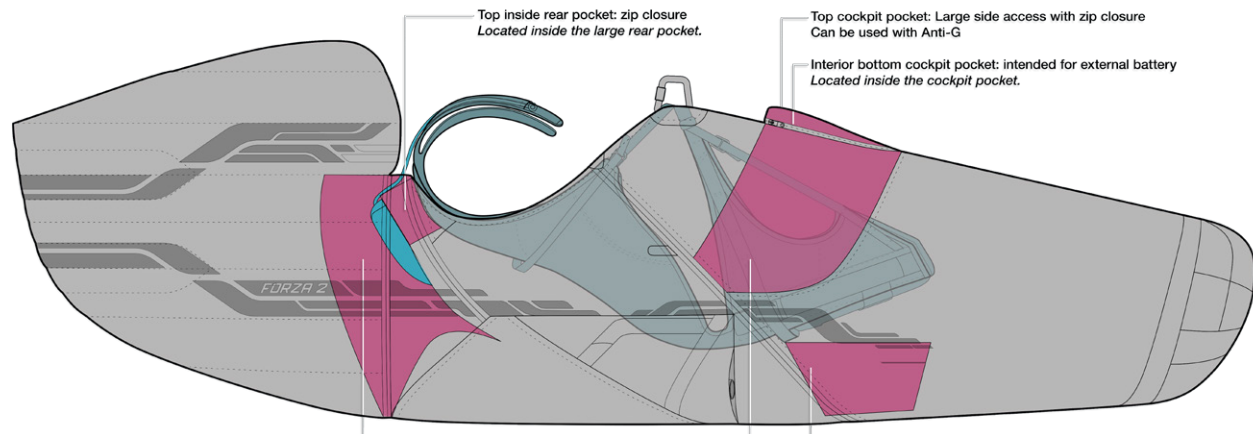
### ポッドの長さ

フットプレートまでの長さは、ポッドの両側にあるストラップを使用して調節できます。



**警告:** いかなる調節も左右対称であることを確認してください。何かを変えた際には、時間をかけて自分に最適なポジションを見つけてください。また毎回調節は僅かずつにして下さい。

# 装備



## 収納

フォルザ2は、21リットルのメインリアポケット、2つの大きなサイドポケット、シート下バラスト/収納ポケット、大きなコックピットポケットと言った十分な収納スペースを備えています。

## コックピット

大きなコックピットポケットは前面から完全に開くことができ、バッテリーポケットを備えています。側面の独立したポケットは、簡単にアクセスできるように特別に設計されたアンチGを収納できるポケットです。



### フックナイフ/肩ベルクロマウント

フォルザ2には、左肩ベルトにフックナイフが取り付けられています。また小型のバリオ、無線機、または GPS追跡デバイスを接着できるベルクロ取り付けポイントもあります。



### ドリンクシステム

フォルザ2には、メインリアポケットの右側に開口部があり、右側の肩ベルトにドリンクチューブ用のアンカーポイントを備えています。



### 尿排出システム

フォルザ2には、ポッドの底に穴があり尿排出用のチューブを通す事が出来ます。



# パッキング

フォルザ2は、他のハーネスと同様にグライダー バッグに収納することができますが、最も効率的な方法は、図のように折りたたむことです:



サイドサポートをシートプレートの中央に向かって折り込みます。

シートプレートをバックサポートセクションに向かって折り、カラビナを付属のループで固定します。



シートプレートをシートの後ろに折りたたんで、通常どおりグライダーバッグに入れることができます。

# 使用法・保守

## グライダーとの接続



メインハングポイントに取り付けられたカラビナにライザーを接続します。Aライザーが外側に向くように注意してください。

カラビナを交換する場合は、それらが適切なサイズで正しくフィットすることを確認してください。

このハーネスにはそれ以外にカラビナを適切に取り付ける場所はありません。

## プレフライトチェック

テイクオフ前に徹底的なプレフライトチェックを行うことが重要です。

- レスキューのクローズピンが正しく機能して、レスキューコンテナ周辺のファスナーが閉められているか確認
- 構造部材のテープが破損していないか確認
- カラビナに亀裂が入ったり、疲労の形跡がないか確認
- ライザーがねじれておらず正しくカラビナに取り付けられているか確認
- アクセルシステムがベルトなどに絡んだりしておらず正しく締結されているか確認
- 全てのポケットがしっかりと閉められているか確認
- レッグ/チェストベルトが正しく締結されているか確認
- 肩ベルト固定クリップが正しく締結されているか確認
- レッグベルトが正しく締結されているか再確認

## レスキューの開傘

もしレスキューを投げると言う不運な状況に陥ったら、確信を持って投げてください:

### 見て:掴んで:引き出して:投げる。

- トグルを見て、掴んで、クローズケーブルが開放されるまで引く。
- インナーコンテナを引き出す。レスキューがコンテナからハーネスの側方へ引き出されるように外方向へ引き出すのがベストです。トグルを上方向に引っ張り上げてもレスキューが引き出されない可能性があります。装備を理解し、それに合わせたテクニックを用いてください。
- レスキューをグライダー方向ではなく、思いっきり障害物のない外側のスペースに放り投げる。この際トグルも一緒に投げることを忘れないようにすることが重要です。開傘を速くするために空気の流れの方向そして回転方向と反対方向へ投げるようにしてください。
- もしレスキューを投げて開傘しない場合(エネルギーの低い緊急事態、例えばディープストールなど)は、レスキューブライダルを掴んで力強く引いてください。このようにすると開傘を速める効果が期待できます。
- レスキューが開傘したら次はパラグライダーを無効にすることです。その方法としてはいくつかあります—Bラインストール、リアライザーストール、Aラインを手繰り寄せてキャンピーを抱きかかえる、ブレークを使用してストールさせる。最良のテクニックは状況によって変わります。最も重要なことは、グライダーがレスキューの動きに逆らってダウンブレン状態にならないように完全にグライダーを無効にすることです。どの方法を選択するにしてもグライダーが回転ないように左右対称にしてください。そうしないとグライダーがレスキューに突っ込んでレスキューが正常に機能しなくなります。
- ほとんどのハーネスのレスキューブライダル取り付け位置により、レスキューを開傘すると自動的にパイロットの姿勢はPLF態勢(脚が下に向く)になります。もしそうならない場合は、着陸時の衝撃を脚で吸収できるように、どんなことをしてでもこの姿勢になるようにしてください。
- 緊急事態やレスキューを開傘した状況で着陸する際は常にPLF態勢を取ってください。

## トーイング

フォルザ2はトーイング使用に適しています。トーイングブライダルはメインカラビナに取り付けなければなりません。疑問がある場合は、資格のあるトーイングインストラクターに質問するかあるいはトーレリースシステム付属の取扱説明書を参照してください。

## 外部レスキューコンテナ

追加的レスキューコンテナ(オプション)をフォルザ2に追加することは可能です。コンテナ及びブライダルの固定にはメインのカラビナを使用してください。

## 着水

着水した後はレスキュー、シートボード、バックプロテクションを取り外し乾燥させます。もし海水に着水した場合は、塩の痕跡が完全に除去されるまでハーネスおよびすべての部品を清水を使用してしっかりと清掃する必要があります。再組立てする前に、ハーネスおよびすべての部品が完全に乾いていることを確認してください。

**重要:** 着水した場合、バックプロテクションおよび背部部分の浮力によってパイロットの顔面を水中に抑え込む危険性があります。着水したらすぐさま全てのベルトを開放し、ラインに絡まらないようにハーネスから離れてください。

## 保守

適切に保守をすればあなたのハーネスは多数のフライトおよび長年持つことでしょう。ハーネスをグリーンで耐空性を持ち続けるようにするには、以下のことに注意してください:

- 紫外線、熱、湿気に過度にさらさない。
- ハーネスを乾燥させてたたみ、涼しくて乾燥した場所に保管する。
- 決してハーネスを引きずらない。特にランディング時。
- 埃や油、その他の腐食性物質から遠ざける。
- 清掃には水と布を使用する。

## 検査

安全のためにすべての装備を定期的に検査することが極めて重要です。オゾンとしては通常のプレフライトチェックの他に12か月ごとの検査を推奨します。検査には縫製部、テープおよび構造的に重要なすべての部分を目視でチェックします。摩耗が最も起こりやすいカラビナ周りのテープには特に注意が必要です。レスキューパラシュートのシステムは6か月ごとにチェックされ、製造者の推奨に従ってリバックされなければなりません。もし何らかの損傷を発見するか疑問がある場合はハーネスを専門家に検査してもらってください。

## 廃棄

ハーネスの寿命が来たならば、すべての金属パーツを取り外してから環境に優しい方法で廃棄してください。

# ポッドの交換

交換用ポッドは、オゾンディーラーから入手できます。何時間も使用した後、または事故によって損傷した場合にポッドの交換が必要になることがあります。



ポッドはハーネスの両側にファスナーで取り付けられており、新しいポッドをファスナーで取り付けます。



両方のスライダーがファスナーの端まで完全に閉じられていることを確認します。



黒色のループは必ずカラビナに接続しなければなりません。そうしないとポッドを破損します。黒色のループをカラビナに接続したらカバーをカラビナにかぶせる事が出来ます。カラビナのゲートを開けてカバーを通します。

**警告:**黒色のループは必ずカラビナに接続してください。



次に右図のようにカバーをカラビナの底辺にずらしてきちんと固定します。



# 仕様

	S	M	L
重量* (kg)	5.9	6.1	6.3
パイロット身長 (cm)	155-170	170-185	185-200

\*ハーネスの重量はフォームプロテクション、シートプレート、カラビナ、レスキュートグル、レスキュープライダル、フックナイフおよびアクセルバーを含んだ重量です。

## 素材 生地

Oeko-Tex製ブルーサイン認証! ヅップストップT0D、コドラ製! ヅップストップ40D,210D,6000D、ソフトシェルライクラ

## メインテープ

グルトアンドウオルフ製25mmポリエステル

## バックル

オーストリアアルバン製コブラバックル

## カラビナ

エーデル! ヅッド製アリアス

## 認証

フォルザ2は、最大荷重120kgでEN1651:2018+A1:2020、およびNFL2-565-20認証を取得しています。またシート下部プロテクションはAlienor (フランス)によりCE認証を取得しています。

# オゾン品質と保証

オゾンでは我々の製品の品質に大変こだわっています。全てのオゾンハーネスは自社工場で最高のスタンダードに沿って作られています。製造されるハーネスの全てが一連の厳しい品質検査を受け、使用される部品は全て追跡調査が出来るようになっていきます。我々はユーザーからのフィードバックを大いに歓迎しますしカスタマーサービスも忘れていません。通常の磨耗や破損あるいは不適切な使用によるもの以外の製造上の欠陥および不具合に対していつでも無料で修理を行います。また、オゾンならびに代理店は、最高品質のサービスと修理を提供しています。ハーネスに破損、摩耗などの不具合が見つかった場合には適切な価格で修理をいたします。

ディーラー、代理店に連絡が取れない場合には、オゾンに直接コンタクト ([info@ozone.com](mailto:info@ozone.com)) してください。

## 最後に

安全に飛ぶことがこのスポーツで最も重要なことです。安全であるためには定期的に練習をし、周りに存在する危険を理解しなければなりません。このためには、出来るだけ定期的にフライトし、可能な限りグランドハンドリングをし、気象に関して常に興味を持たなければなりません。これらのどれ一つでも欠けていれば、不必要にあなた自身を危険にさらしていることになります。

毎年多くのパイロットがテイクオフで怪我をしています;その仲間入りをしないようにして下さい。テイクオフが最も危険に晒される瞬間です。テイクオフの練習をたくさん行ってください。いくつかのテイクオフエリアは小さくて難しく、コンディションも常に理想的ではありません。もしあなたがグランドハンドリングに長けていたなら、他の者が苦しんでいたとしても確実に安全にテイクオフすることが出来るでしょう...出来る限り練習を積んでください。怪我をする確率は減り、素晴らしいフライトを楽しむ確率は上がるでしょう。

環境に配慮し、あなたのフライトエリアを守ってください。ハーネスに寿命が来たなら、全ての金属パーツを取り除き、環境に優しい方法で廃棄してください。

最後に、自然を敬ってください。自然はあなたが想像するより遥かに大きな力を持っています。あなたの技術レベルに照らし合せて適切なコンディションがどの程度であるかを理解し、その範囲内に常に留まってください。

フォルザ2で楽しいフライトを  
オゾンチーム

*INSPIRED* BY NATURE, *DRIVEN* BY THE ELEMENTS

**FLYOZONE.COM**

輸入者 ファルホークインターナショナル株式会社

〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12

<https://www.falhawk.co.jp> Email: [info@falhawk.co.jp](mailto:info@falhawk.co.jp)

**OZONE**

Ozone Gliders Ltd  
16 Barnes Green  
Livingston  
Scotland  
UNITED KINGDOM